

第 42 回 社協チャリティバザー 実施報告書

令和 3 年 12 月 5 日(日)、市立社会福祉センターにおいて、社会福祉関係団体及び協力団体・グループや市民の皆様からいただいた品物を市価の半額程度で販売、売上金はすべて市民の福祉活動に活用することを目的として第 42 回社協チャリティバザーを開催しました。

開催に先立ち 10 月 11 日(月)に共催団体による準備会を開催し、11 月の 1 ヶ月間で物品提供・寄付金の受付を行いました。

【前 日】

12 月 4 日(土)、午前 9 時から社会福祉センターに協力員が集まりオリエンテーション後、開封作業や値付けを担う協力員はセンター裏の品物を収納しているガレージ前で、いただいた商品を開封し値付けを担う協力員へ。値付けでは市価の半額より安くなるように値札を貼り、値付けした品物を社会福祉センター 2 階へ搬入。設営・展示を担う協力員が展示を行いました。

【当 日】

12 月 5 日(日)10 時から販売が開始されました。今回は、コロナ感染拡大への対策として小規模開催となり、社会福祉センターで初めての開催となりました。また感染症対策として【入館人数の制限(入室人数の制限)・入館時の手指消毒と検温・大阪コロナ追跡システムの導入・会場内一方通行・会場内換気(空気清浄機の設置・サーキュレーターの設置)・午前と午後の協力員を交代する】などに取り組みました。午前 8 時には社会福祉センター正面玄関に開場を待つ来場者の列ができ、販売開始とともにまず 70 名が入館。すぐに定員まで達しました。

またオークションは、時間帯を 3 部制(40 分毎)・定員 20 名で行うことで、密を避けるとともに様々な方に参加していただけるように工夫しました。

メイン会場となる大会議室では、前方をオークション会場、後方を 500 円以上コーナーとし、小会議室では 200~400 円コーナー、大広間・健康相談室を 100 円コーナーと 価格帯で会場を分けることにより、買い物をしやすくしたことによって、お目当てのものをいち早く見に行けるよう工夫しました。また 1 階事務所前



では野菜コーナーを設置、来館者が必ず通る位置を確保することで多くの方が購入されました。

午前 11 時からオークションを開始、企業などから提供のあったスティック掃除機、宿泊招待券・食事券・入浴招待券・空気清浄機等の目玉商品が落札されると会場はおおいににぎわい、盛り上がりました。

午後 2 時にはすべてのコーナーで販売を終了し、各種団体・ボランティア・社協関係者名の協力者によって片づけを行い、無事に終了しました。

【当日売上げ及び寄付金額】

コーナー	第 42 回売上金	第 41 回売上金
100 円コーナー	59,000円	671,765円
200~400 円コーナー	121,900円	
500 円コーナー	167,390円	
野菜コーナー	102,350円	61,550円
オークションコーナー	114,200円	186,300円
焼き物コーナー		16,800円
寄付金	353,220円	382,699円
合 計	918,060円	1,319,114円

《前回より、-401,054円》

大型商品提供者（敬称略・順不同）

犬鳴山温泉 不動口館、犬鳴山温泉 み奈美亭
 社会福祉法人 犬鳴山
 イオンリテール株式会社・イオン日根野店
 大阪タオル工業組合、大阪泉州農協
 阪南青果(株)、株式会社 向新
 株式会社 リノ、不二製油株式会社
 バイキング左近（左近商事株式会社）(株)平善
 明治安田生命りんくう営業所
 日王株式会社、サンワールド株式会社
 がんこ座、射手矢 康之、右馬野 博
 西願 幸雄、麻生川 敏行
 （他、匿名の方々から提供頂きました）

